



作成年月日	令和5年7月13日
作成部局	まちづくり部都市計画課

兵庫県は持続可能な開発目標（SDGs）を支援しています。

第6回近畿圏パーソントリップ調査 兵庫県の集計結果（中間報告）をとりまとめました

【問合せ先】 まちづくり部都市計画課施設班 TEL 078-362-4307（内線4642）

兵庫県では、近畿地方整備局、近畿2府3県、4政令市と協力して、下記概要のとおり第6回近畿圏パーソントリップ調査を実施しました。

この調査結果(中間報告)について、別添のとおり、当県HPに掲載します。

掲載URL：https://web.pref.hyogo.lg.jp/ks21/wd21_000000018.html

(参考)京阪神都市圏交通計画協議会URL：<https://www.kkr.mlit.go.jp/plan/pt/index.html>

1. パーソントリップ調査とは？

だれが？

どんな
目的で？

どこから
どこへ？

どんな
時間に？



どのような
手段で？

移動しているのか

パーソントリップ調査は、人の移動に着目した調査で、「だれが」、「どんな目的で」、「どこからどこへ」、「どのような手段で」移動しているのかなどを調査するものです。

各交通手段の利用割合や交通量などが分かることから、その結果は都市計画マスタープランや公共交通計画など、まちづくりにおける様々な施策検討等に活用されます。

2. 第6回調査の概要

〈調査範囲〉

近畿全域
(滋賀県、京都府、
大阪府、兵庫県、
奈良県、和歌山県)



〈調査時期〉

2021(令和3)年9月～11月

〈対象者〉

調査範囲から、無作為で選ばれた約44万世帯(満5歳以上)

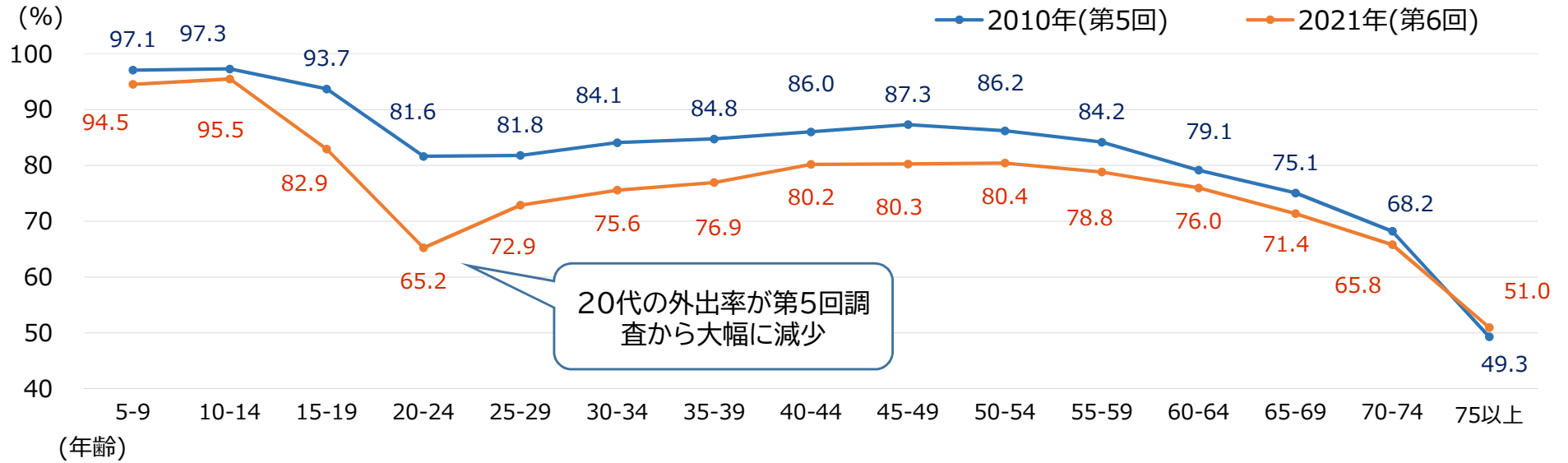
〈調査方法〉

対象世帯に対して、郵送で調査の案内を配布、Web回答または紙の調査票で回答する方法で実施

3. 県内の動向

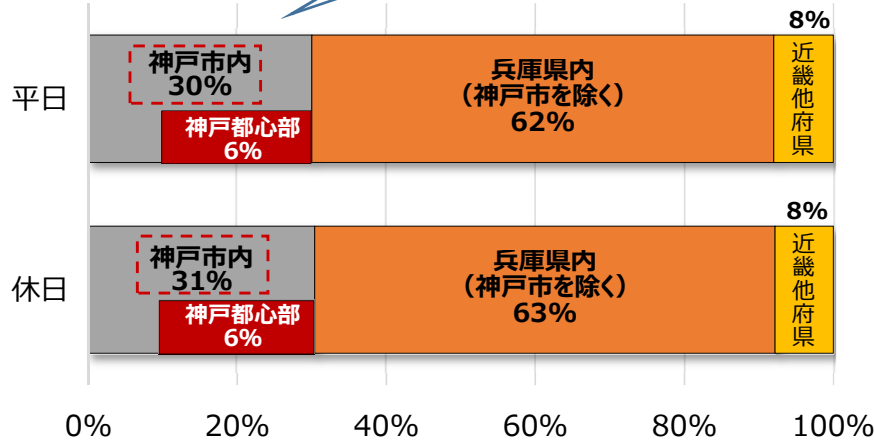
10年前の調査に比べて若者の動きが鈍化、兵庫県民は約3割が神戸市内への移動、他府県民は約9割が阪神・神戸地域への移動人の動きは、隣接する大阪府との繋がりが強い

【外出率】

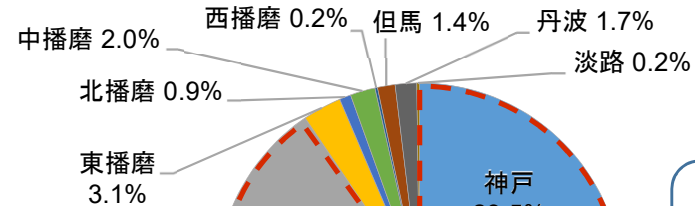


【兵庫県民の移動先】

平日・休日とも県内での移動が多く、そのうち3割が神戸市内への移動

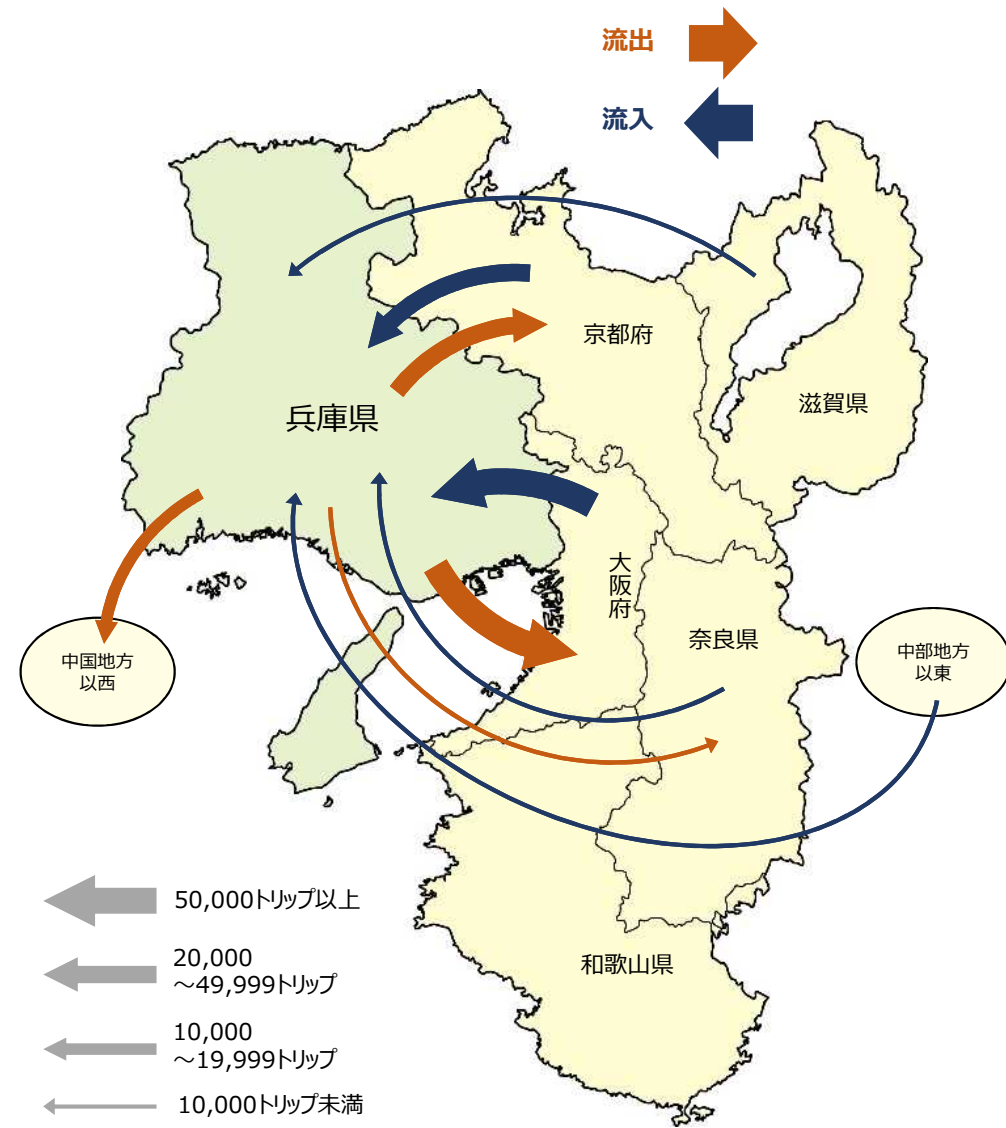


【他府県民の移動先(平日)】



県外から来訪する人の9割以上が、阪神・神戸地域への移動

【兵庫県に関する人の動き】



【兵庫県内での動き】

(単位:トリップ/日)

流動量	5,320,355 (92.3%)			
	流動目的	自由 2,721,567	通勤 1,458,025	通学 630,852
流動手段	1	2	3	2,325,477
	2	1	2	1,274,460
	3	3	1	715,426

【兵庫県から他府県への動き(流出)】

(単位:トリップ/日)

流動量	1	大阪府	388,695
	2	京都府	25,496
	3	中国地方以西	11,568
流動目的	1	通勤	278,531
	2	自由	79,006
	3	業務	51,104
流動手段	1	バス	316,413
	2	車	103,408
	3	バイク	7,180

【他府県から兵庫県への動き(近畿圏居住者流入)】

(単位:トリップ/日)

流動量	1	大阪府	230,519
	2	京都府	21,263
	3	中部地方以東	8,091
流動目的	1	通勤	113,363
	2	自由	86,081
	3	業務	48,829
流動手段	1	バス	162,150
	2	車	93,218
	3	バイク	4,161

※帰宅目的のトリップは除く